

令和6年度 春日部小学校 学校経営方針 「地域とともにこんな学校をつくります」

第4期教育振興基本計画 (2023～28)
学習指導要領(2020～)
第4期ひょうご教育創造プラン (2019～23)
2024年度「指導の重点」
兵庫が育む ころ豊かで 自立する人づくり
第2次丹波市教育振興基本計画 (2020～24)
2024年度 丹波市の教育 ～実施計画～
ふるさとを愛しころ豊かで たくましい人づくり 地域に誇りを持ち 自分たちの未来を創る人づくり ～一人ひとりが未来の創り手に～
3つの基本方針と21の具体的施策



学校教育目標
心豊かにつながり、夢と勇気を持って挑戦する春日部っ子
～ドンドン挑戦、ニコニコ笑顔、モリモリ元気～
めざす姿
〔子ども像〕
【知】・夢や目標を持って前向きにチャレンジする子
・自ら考え、友だちと学びを深められる子
【徳】・「はるべの郷」が大好きで、誇れる子
・自分も相手も大切にする子
【体】・命や健康を大切にする子
〔学校像〕
☐ 学ぶ感動、集う楽しさ、働く喜びのある学校
☐ 保護者・地域社会の期待に応え信頼される学校
☐ 地域の「人」「自然」「もの」を生かした教育活動を行う学校
〔教師像〕
☐ 子どもに向き合い、共に汗をかき、情熱と愛情を持って指導にあたる教師
☐ 子どもの悩みや保護者の相談に誠意をもって対応する教師
☐ 教育課題に組織的に迅速に対応し、認め合い、支え合い、磨き合う教師集団



設定理由
・自分も相手も大切にすることを土台に、「ふるさと春日部」に軸足を置いて、豊かなつながりを結べる人を育む。多様な人々との交流を通じて、自己有感や自己肯定感を豊かに育み、安心・安全で、楽しい学校を創造する。
・未来を生きていくためには、夢を持つと同時に、それを叶えるだけの勇氣ある挑戦が大切になる。学習面では、基礎・基本を大切にしつつ、主体的・対話的で深い学びを実現することができる魅力的な授業や教育活動を追究する。
・学習や行事、ちょっと難しいなど思うことでも、失敗を恐れずドンドン挑戦してほしい。
・自分も相手も同時に大切にし、たくさんの人と笑顔と感謝を大切にしたい。
・健康管理に気を付け、自分も周りの人も元気になるパワーを持って欲しい。



重点目標・具体的努力目標 (赤字は、コミュニティ・スクールに関連した内容、青字は、新規の内容)			
[学力の向上]	[安心・安全な環境づくり]	[より良い生き方の追究]	[家庭や地域との連携等]
①【確かな学びの保障】 ・基礎的・基本的な知識や技能を確実に定着させる。 ※「読み取る力」と「伝える力」を一体的に育むよう授業研究を行い、自分の考えや思いを表現できる児童を育てる。 ・自ら課題を見つけ、多様な人々との協働的な学習をとおして、「わかった」「できた」と実感できる授業づくりを行う。 ※「聴き合い・学び合い」を大切に、児童が「聴きたい」「考えたい」と思える課題設定を工夫する。 ・朝のスキルタイムの実施方法を見直し、定着度を評価する。 ・授業改善に加えて、朝のスキルタイム、ひょうごがんばり学びタイム、家庭学習(復習・予習)等の充実を図る。 ②【家庭学習の充実】 ※宿題の出し方を工夫したり、家庭学習のすすめ方や自学ノートのやり方を啓発し、自ら学ぶ力を高める。 ③【情報教育の推進】 ・一人一台タブレットやICT機器を「考える力をつける」ために利活用する。 ・自分で考え、それを形にしていける、プログラミング的思考力や行動力を育むプログラミング教育を実践する。 ・情報モラルや使い方のルールについて学年に応じて繰り返し指導する。 ④【読書習慣の定着】 ※読み聞かせやはるべ文庫を充実させ、本への関心を高め、読書を通じて学ぶ楽しさや知る喜びを体験させ、読書習慣の定着を図る。 ※毎月23日を中心とした家庭読書週間を保護者・地域に、さらに啓発し本に親しむ時間を増やす。	①【個別の教育ニーズ対応】 ・特別支援教育コーディネーター、学級担任、特別支援教育支援員、多文化共生サポーター、通級指導員や専門機関との連携を図り、一人一人の教育ニーズに応じた合理的配慮と教育支援の充実を図り、すべての子どもが学びやすい環境づくりに取り組む。 ②【居場所作り】 ・職員会議等で児童理解を図り、毎日楽しく学校に通える居場所づくりに努める。 ・一人ひとりの理解と尊重に努め、良さを引き出すと共に、がんばりや伸びを認めて誉める。 ・学級や学校での活動、地域への貢献活動を通して、自分や友だちのいいところを見つけ、愛され・認められ・感謝される心豊かなつながり体験から自己有用感を育む。 ③【いじめ・不登校対応】 ・児童の人権・命を守るために、いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期対応等の指導を徹底する。 ・自分からは伝えにくい児童もいるため、一人ひとりをじっくり見つめ話を聞く。 ・管理職への報告・連絡・相談を徹底し、いじめ・不登校対応チームを中心とした迅速・適切な対応を行う。 ・家庭・専門機関と連携し、登校を促すとともに、自立する力を育成する。 ・SNSなどを含む情報モラル教育の充実をPTAと共に図り、人権と命を守る。 ④【危機管理】 ・不審者対応訓練、引き渡し訓練、避難訓練を実施し、尊い命を守るという意識と行動力を育てる。(市防災教育教材「心つながり」や補助動画教材、丹波市防災教育モデルプランを活用) ・登下校時の安全確保のため、保護者・地域の方による見守りボランティアやたんば号によるパトロールを行う。	①【道徳・人権教育】 ・特別の教科「道徳」をはじめ、全教育課程を通して、規範意識や人権尊重の意識を高めて、行動できる児童を育てる。 ・船松人権歴史館見学や人権参観日を実施し、発達段階に応じた内容を系統的に指導する。 ・包括的性教育等の理解に関する研修を行い、ジェンダー平等教育に取り組む。 ②【キャリア教育】 ・地域の名人・鉄人に学ぶ学習やプロフェッショナル学習等を通して、将来やってみたいこと等を考える機会を作る。 ・兵庫県キャリアパスポート、丹波市版キャリアノートを活用し、自分の生き方を考えさせる。 ③【連続した学び】 ・認定こども園との交流(運動会・音楽会・5歳児と5年生・体験入学等)を行う。 ・中学校との交流(出前授業等)を行う。 ④【健康づくり】 ・早寝・早起き・おひさま・朝ごはんの生活習慣作りを働きかける。 ・新体力テストの結果を踏まえた体育指導の充実を図る。 ・運動会、マラソン記録会等の機会に自分を鍛えようとする姿勢で取り組ませ、達成感を実感させる。 ・家庭でのテレビやゲームの時間の使い方等のルールを決めて時間を有効に使い、ゲーム障害やトラブルを防止する。	①【コミュニティ・スクール】 ・学校運営協議会「かすかべっ子はぐくみたい」を核としながら、PTA、自治協議会、同窓会等との連携を図り、教育活動の充実を目指す。 ・地域学校協働活動推進員や学校支援コーディネーターと連携して取り組む。 ※学習支援や行事支援などゲストティーチャーやアシスタントティーチャーを招聘し、教育活動の充実を図る。 ②【あいさつ運動】 ・学校だけでなく家庭、地域と連携して、元気を届けるあいさつ運動に取り組む。 ③【ふるさと学習】 ・学校支援コーディネーターやゲストティーチャーの協力を得て、人や自然と触れ合い、地域の課題解決のための取組やふるさとの良さを学ぶふるさと学習を行う。 ④【情報発信】 ・学校便り、校長通信(HP)、学級通信、保健便り、ホームページ等を活用して積極的に情報を提供する。 ⑤【働き方改革】 ・安心して働ける職場づくり・校務・業務の効率化に取り組み、子どもに向き合う時間を確保すると共に、教育の質の維持・向上と教職員の能力向上を目指す。 ・ルールブックを改定するとともに課題を整理して対策を実行する。 ・年休の計画的取得によるリフレッシュ。 ・「スペース」を活用し、打ち合わせ時間の削減を図る。 ・毎週水曜日を「定時退勤日」とする。 ・メンタルヘルス・ケアとハラスメント等の防止。

